



7/3 遊びうたで子どもとスキンシップ

子育て支援センターの育児講座が中部公民館で行われ、親子47組が参加。中日子ども会の山崎治美氏が「遊びは体で学ぶ、ルールを学ぶ。小さいときはいっぱい体で遊びましょう」と語り、その後、歌を歌ったり動いたりして親と子どもが一緒に遊びました。お母さんたちは「初めてですが、思ったより動きますね」「家に帰っても遊びをやってみよう」と汗を流し、簡単にできる親子遊びを学びました。

7/3 願いがかなうといいな

祥南小学校で、全校児童449人が参加し、七夕集会が行われました。児童が持参したペットボトルやベルマークと交換した短冊に、願いごとを書いてペア学年で笹に飾りつけ。その後、七夕の劇を見たり、歌を歌ったりして七夕の行事を楽しみました。「家族が健康でいられますように」「かんごふさんになりたい」などの願いごとがかなうといいですね。



6/22 親子でどっぼーん

マーメイドパレスで親子着衣水泳「親子でドボーン」が行われ、親子38組が参加。心肺そ生法、水難救助の説明を受けた後、順番にプールへ飛び込んでいきました。「泳いでいるときよりも、プールから上がるともっと重たい」「服がすごく抵抗になります。気持ち悪い」と参加者たち。バケツ、ペットボトルなど身近にあるものでどれくらい浮いていられるか実験し、夏本番を前にいろいろな知識を得ました。



わがまち フォト グラフ



あけぼの保育園の年長園児63人が、名古屋場所のため、不乗森神社内に部屋を構えている二十山部屋を訪れました。園児たちは家庭から持ち寄った野菜・果物、手紙や竹飾りなどを力士にプレゼント。「大きいね」「大きくなったら僕もお相撲さんになるんだ」と園児たち。皆で声を合わせて「おすもうさん、がんばってね」と激励しました。

6/26 おすもうさん、がんばって

安城特産の「手延べそうめん」作りが最盛期を迎え、和泉町を中心とした製麺所6軒では午前3時ごろから夜中まで作業をし、1日1500食ほどを生産しています。江戸時代に食料不足に苦しんだ農民の副業として始まったといわれる和泉そうめん。手作りの腰の強さが人気で、全国から予約注文が殺到するそうです。

6/19 手延べそうめん作り たけなわ



6/21 とても集中してます

交通ルールの知識と技術を競う市交通安全子ども自転車大会が錦町交通安全広場などで行われました。計7チーム45人が参加し、団体の部では、錦町小Aが優勝、錦町小Bが準優勝、3位に南部小Aが入賞し、県大会へ出場。また、個人の部では松浦りえさん（錦町小6年）が優勝しました。